

レールライフ実践人 vol.4



レールライフ実践人では、公共交通を活用して「かしこいクルマの使い方」を実践している人々をご紹介します。

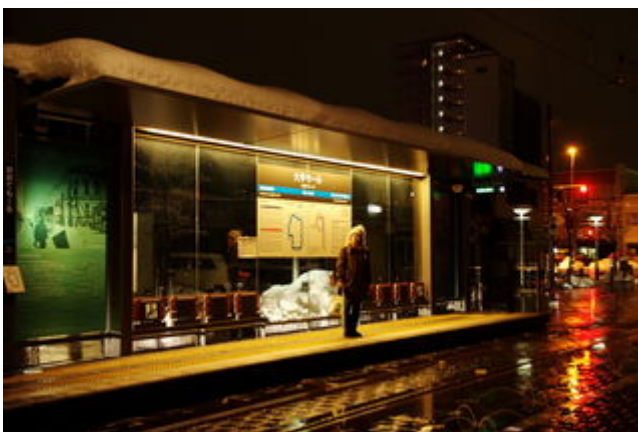
第四回目は、富山市内の会社に勤務する平井さんにお話を伺いました。

富山県一世帯当たりの自動車保有台数は約 1.7 台で全国 2 位の多さとなっています。

そんな中、平井さんは車を保有せずにほぼ全ての移動を公共交通で行うという、

富山では珍しい生活を楽しんでいる方でした。

平井さんのレールライフスタイルに興味津々です。



■平井さんのレールライフスタイル

平日：富山地方鉄道と徒歩にて通勤。帰り道に中心市街地に立ち寄る際はセントラムなどを利用。

休日：富山地方鉄道や自転車であちなかへ出かける。家族や友人の車で移動することも。

■公共交通の使い方

「勤務先が車通勤 NG で電車通勤を推奨されています。

わたしは富山地铁上滝線の沿線に住んでいますので、
毎朝最寄り駅まで 10 分弱歩き、地铁に 15 分位乗って、
地铁富山駅から 10 分弱歩いて職場に通っています。

自転車で南富山駅まで行って、市内電車を利用することもありますね。

基本的に、電車通勤が苦では無いんです。

6 年間このスタイルを続けています。」

■ダイヤに合わせた生活と電車での過ごし方

「上滝線は本数が多くないので、自然とダイヤに合わせた生活になります。

仕事をこの時間までに終わらせようと目標立て、メリハリが付くのが良いんです。

雪が降っても車なら必要な雪下ろしなどが無いので、

朝の時間などもリズムを変えずに生活が出来ています。

電車の中では座って読書や勉強をすることが多いです。

片道 15 分ずつでもコツコツ積み上げれば大きな時間になるので、

資格取得に向けた勉強をしています。

車や自転車では作れない時間ですよ。」



■まちなかを楽しむ

「仕事後に、セントラムや市内電車を使って富山市民プラザそばのヨガ教室へ通っています。
通勤で使う富山地铁の定期券は市内電車にも乗ることが出来て便利ですね。

ヨガへ通う中での時間調整のついでだったり、
お休みの日の買物だったり、好きなインテリアショップを覗くためだったり、
大和の地下でちょっと珍しい食材を買ったり、
グランドプラザのテーブルで本を読んでいたら見知らぬ婦人に声をかけられたり(笑)、
色々な目的でまちなかに来ますが、私はここで「事足りる」感じですよ。
こだわりのある店が好きで、ここにはそれがあるから、特に不便を感じません。
でももう一つくらい百貨店があればうれしいですね。まわる楽しみがもっと増えるので。」

■車について

「車が欲しいと思ったことが無いんです。
どうしても使う必要があるときに今は家族などから借りれるということもありますが、
使う機会が限られていることと維持費を考えると、
やっぱり必要無いのかなと思います。」

お酒を飲んでもタクシーを使わず、必ず電車で帰ります。

もったいないって思っちゃうんです。けちなのかもしれません(笑)」



■最後に

「上滝線の本数が増えてかなり便利になりました。」

(編集部注: [不二越・上滝線増発社会実験](#)が行われています。)

■まとめ

公共交通を使いこなす平井さんは、

- ・通勤中の勉強時間
- ・まちなかでの様々な楽しみ
- ・ダイヤに合わせたリズムある生活

を手に入れ、自分にとって大切な物を見極めた、素敵なレールライフを楽しんでおられました。

ご本人はけちと言っておられましたが、車を持つことの費用をきちんと把握していて、

その分ヨガなどの余暇を楽しむ堅実な節約家という雰囲気でした。

■追加情報

平井さんが日常的に利用している富山地方鉄道では、
デザイナーの水戸岡鋭治氏が手がけた特別デザインの観光列車『アルプスエクスプレス』が運行中
です。

富山駅と岩嶽寺駅、立山駅、上市駅、宇奈月温泉駅をそれぞれ往復しています。